物流ルートの整備により、交通の円滑化、輸送時間短縮に寄与

- ・国道228号北斗市街地周辺では、 『生活交通』と『長距離交通』が混在 しており、市街地では混雑が発生。
- ・北斗富川ICの開通により、現道とのアクセスが向上し、函館江差自動車道の利用が促進され
- ①並行現道の交通量が減少し、『生活交通』の走行性が向上。
- ②物流ルートが確保されたことで、『長距離交通』の輸送時間が短縮。









